関西大学経済・政治研究所
第205回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

大阪（関西）の社会労働運動は、様々な争点や要求をめぐって展開されてきた。現在の政治・経済的状況や新たな社会運動の展開を見る際には、歴史から現在を照射し、社会・経済・政治・法律（裁判）・教育等の各分野で検討する必要がある。それ故、過去・現在・未来という時間軸を考慮に入れながら、国家・企業と個人を媒介する運動のあり方を考えることが求められる。今回は、「歴史」と「企業」という２つのテーマで報告する。

＜大阪の社会労働運動と政治経済研究班　主幹　髙作正博＞

日　時：平成 26 年 6 月 18 日 (水) 13：00～16：10
会　場：千里山キャンパス
尚文館 1 階マルチメディア AV 大教室

【テーマと報告者】

「三池炭鉱の記憶と大阪

－『むかし炭鉱、いま原発　三池炭鉱炭じん爆発 50 年展』を振り返って」

大阪の社会労働運動と政治経済研究班委嘱研究員
大阪産業労働資料館館長　**谷合佳代子**

「近代日本紡績業と労働者」

大阪の社会労働運動と政治経済研究班研究員
政策創造学部准教授　**橋口　勝利**

◆ 対象者　経営者、企業・行政関係者、社会人
◆ 聴講自由　参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。（定員 200 名）
◆ 連絡先　〒564-8680　吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179／FAX (06) 6339-7721
http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/

主　催　関西大学経済・政治研究所
後　援　大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行

関西大学

130 KANSAI UNIVERSITY